

保護者様

横浜市立矢向小学校  
校長 工藤 雅彦

## 令和3年度 全国学力・学習状況調査結果について

本年度、実施した全国学力・学習状況調査（小学校6年生・中学校3年生対象）の結果がまとまりました。この調査結果を踏まえ、今後の本校としての取り組みについてご説明させていただきます。

なお、今回の調査により測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。この調査結果に一喜一憂することなく、児童一人ひとりの力をつけることに引き続き取り組んでまいります。保護者の皆様には、本調査の趣旨を十分に理解した受け止め方をさせていただきますよう、お願いいたします。

## (1) 教科学習状況調査結果「平均正答率(%)」

	国語	算数
矢向小学校	69%	72%
横浜市	(本年度は公表せず)	
神奈川県	63%	70%
全国	64.7%	70.2%

## &lt;全国の正答率と比較して結果に特徴のある問題&gt;

	全国よりも上回った問題 【評価の観点】・出題の趣旨	課題のある問題 【評価の観点】・出題の趣旨
国語	<b>【知識・技能】</b> ・思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使う。 ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使う。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考える。 ・文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握する。 ・目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する。 ・自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える。	<b>【知識・技能】</b> ・文の中における主語と述語との関係を捉える。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付ける。 ・目的や意図に応じて、理由を明確にしなが、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。
算数	<b>【知識・技能】</b> ・速さを求める除法の式と商の意味を理解している。 ・条件に合う時刻を求めることができる。 ・棒グラフから、数量を読み取ることができる。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを記述できる。 ・帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述できる。	<b>【知識・技能】</b> ・三角形の面積の求め方について理解している。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・集団の特徴を捉えるために、どのようなデータを集めるべきかを判断することができる。 ・示された除法の結果について、日常生活の場面に即して判断することができる。

## 【教科学習状況調査結果の考察】

「国語」「算数」共に全国、神奈川県の前平均正答率を上回る結果となった。問題形式別の正答率を見ると、「選択式」「短答式」の正答率が「全国」「神奈川県」の前平均よりも高く、「記述式」は「全国」「神奈川県」と同程度となっている。「記述式」の正答率を高める学習をしていく必要がある。

## (2) 質問紙調査結果【（ ）内の数字は全国平均】

<全国の前平均と比較して結果に特徴のある質問>

### 【全国前平均を上回った質問】

○国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。

…70.8% (65.2%)

○国語の授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしていますか。

…45.4% (38.3%)

○算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。

…81.5% (72.8%)

### 【全国前平均を下回った質問】

○算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか

…63.1% (66.0%)

### 【質問紙調査結果の考察】

上記した、全国前平均を上回った質問の他にも「国語、算数の勉強は大切だと思いますか。」という設問に対して、肯定的に回答している児童が全国の前平均よりも多くいることから、学ぶことを大切にしようとする意識が高いことがわかる。一方で上記した、全国前平均を下回った質問の他にも「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか。」「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」という質問でも、肯定的に回答している児童は全国の前平均より少ない結果となった。自ら課題に取り組んだり、粘り強く考えたりする力を育成していく必要があると考察できる。

## (3) 学力向上に向けた今後の取り組み

- ・子どもたちが基礎的な知識及び技能を正しく身に付ける必要感を感じられる授業づくりを継続します。
- ・考えを伝え合う対話的な学びの場面を設定し、思考したり、判断したり、表現したりする力を育てます。
- ・自分たちで課題や問題を見つけ解決する、問題解決的な学習を多く取り入れ、見通しをもち粘り強く学ぶことのよさが実感できるよう授業改善に取り組みます。